

○インターハイ予選支部大会結果報告

5月12日（日）に行われましたインターハイ予選支部大会の結果を報告します。

◎1回戦 対大泉桜・東大和南合同

	1	2	3	4	5	6	7	計
大・東	0	4	1	4	0	2	0	11
山崎	0	0	4	6	5	1	×	16

<戦評>

山崎は序盤5点ビハインドの苦しい展開になります。

一方得意の攻撃陣も2回まで0点に抑えられ、嫌なムードが漂います。

しかし、3回裏4本の長短打等で4点を返します。

その後すぐに4点を獲り返されますが、勢いのついた攻撃陣は4回裏に6点、5回裏にも5点のビッグイニングを作り、一方守備陣も、リリーフした投手を中心に立ち直り、終わってみれば11-16の乱打戦を制し、支部予選決勝へと駒を進めました。

◎2回戦 対東京純心女子・玉川学園・白梅学園合同

	1	2	3	4	5	6	7	計
山崎	5	0	0	0	0	0	0	6
純玉白	4	1	2	2	0	2	×	11

<戦評>

間に1試合をはさみ午後に行われた支部大会決勝。

これに勝てれば、都大会への出場権が得られます。

山崎は初回、相手投手の乱調や守備の乱れにつけ込み5点を先制します。

しかしその裏、相手校のソフトボールらしい小技を絡めた攻撃に苦しみ、失策等も絡んですぐに4点を返されてしまいます。

その後は、攻撃陣も2試合目の疲れと相手投手の復調、さらにあまり対戦したことのないタイプの投手の投球になかなか走者が出せずに回が進んでしまいます。

一方、守備は相手の多彩な攻撃の前にじわじわリードを広げられますが、投手を中心に粘り強く守り少数失点でしのぎます。

そして6回表、久しぶりに出した走者を主将の一振りで返し、久々の1点をあげます。しかし、その後チャンスを作ったものの後続が続かず1点どまり。

その裏2点を返され、結局6-11で敗戦しました。

相手校とは、力・技ともに差を感じましたが、その中で、今できる精一杯の力を発揮できたのではないかと思います。

やはり、これより先に行くには、練習の工夫や気持ちの切り替えも必要かと思えます。大きく活動方針を変えるわけではありませんが、7月の公立選手権に向けて少ない時間を有効に使っていきたいと思えます。

投手は1試合目途中からリリーフし、2試合目を完投。

過去最高の投球数になりましたが、よく投げました。

その他、暑い中で2試合守りぬいた捕手をはじめとする守備陣。

6回裏に「これが抜けたらだめ押しされる」という打球を追いかけて激突した外野手。

(ケガには注意していきます。)

それぞれに勝ちたいという思いが一番見られた試合でした。

(文責：中村)